

# 研推だよりNo.28



令和5年  
1月10日  
研究推進部会

先生方、今年もよろしくお願ひします。今年はいよいよ研究発表★みんなでがんばりましょう！

## 1 研究紀要（進行中）

製本・印刷は市内業者をお願いできそうです。現在、吉田さんに動いていただいて、業者の方に見積もりをお願いしています。

### ①構成

内容	ページ数	分担
表紙	1	佐藤
はじめに	1	校長
中表紙① I 研究の概要（色）		
1 研究主題	1	水流
2 主題設定の理由		水流
3 研究構想図	1	中島
4 研究の方法と内容	2	中島
5 研究組織図	1	中島
6 研究の経過	2	渡部
中表紙② II 実践の報告（色）		
1 中表紙③ 低学年分科会	1	低学年分科会
2 分科会提案	1	
3 2年実践報告（A 授業）	7	
4 1年実践報告（B 授業） ※授業実施後作成	3	
5 成果と課題	1	
1 中表紙④ 中学年分科会	1	中学年分科会 ※3年実践は、指導室 訪問のためページ 数が違ってきます。
2 分科会提案	1	
3 4年実践報告（A 授業）	7	
4 3年実践報告（B 授業）	7（※）	
5 成果と課題	1	
1 中表紙⑤ 高学年分科会	1	高学年分科会
2 分科会提案	1	
3 5年実践報告（A 授業）	7	
4 6年実践報告（B 授業）	3	
5 成果と課題	1	
1 中表紙⑥ すずかけ分科会 ※	1	すずかけ分科会
2 分科会提案	1	
3 すずかけ実践報告	7	
4 成果と課題	1	
中表紙⑦ III 研究のまとめ（色）		
児童アンケートの結果と考察	2	中島、佐藤
研究の成果と課題	1	水流
おわりに、講師の先生、研究に携わった教職員	1	副校長

1/6 締切 → 1/18（水） 締切（変更）

## ②作成のスケジュール

日程	会議等	研究推進委員	校内全体
2学期中		① 今年度の研究と成果と課題を校内全体に周知し、冬休み中に記入してもらう。	
冬期休業中		① 分担に沿って研究紀要作成	研究の成果と課題を入力
1 / 6 今日	三部会	① 紀要の各ページを持ち寄って校正チェック →修正箇所を確認し、再度分担に下ろす	1年B授業 →終了次第、紀要の原稿作成
1 / 25	三部会	① 修正した原稿を持ち寄って最終確認 ② 成果と課題（第1稿）を研推全体で確認  (原稿の印刷?) ※紙かデータか業者に確認します。	
1月末		① 業者へ紀要のデータ送信	
2月中		① 業者による製本 →製本が終了し、受け取り次第配布 (教育委員会、市内各校、校内教職員、他)	

## ③各学年の原稿モデル

### 【A 授業】

・指導案+授業の様子（写真、作品、ワークシート等）+協議会記録で「実践報告」とします。

6 本時（2時間目/全4時間）

(1) 目標 我が国の気候は、日本の位置や地形などの地理的な要因と、台風や季節風などの自然環境によって決まっていますが、各地の気候は人々の暮らしにも大きな影響を及ぼしていることを考え表現している。

(2) 総論

① 上記学習活動 → 予想される見解の状況

② 前時より深まり、本時の進め方について確認させる。  
・前時、各ホームグループで意見をまとめたので、今回はそれを各グループで発表させる。  
(初めて) 調べたことをホームグループで発表し、日本各地で気候が異なる理由を考えた。  
③ 前時に資料から読み取った情報について、ホームグループで発表し合う、共有する。  
A. 緯度が違うと、太陽光の当たり方が変わるから、緯度によって気候が変わるらしいのだ。  
B. 風の向きによって、日本各地の気候が異なるのだ。  
C. 気候が異なる理由は、緯度が違うからだと。  
④ 発表した内容をもち、日本各地の気候を定める原因についてグループで話し、まとめる。  
⑤ コア・マトリクスによる共有・共有

⑥ 前時の学び【研推紀要】(研推方法)  
⑦ AとBに似たようなテーマ下のもとに、学習の現在地点を確認する。  
⑧ 発表者は議題にまとめたプレゼンテーションソフトを使用して発表する。  
⑨ 聞き手は、それぞれの発表を思考ツール(コア・マトリクス)に書きだしながら聞く。

⑩ 話し合いでは、気候の違いから人々の生活に与える影響についても考えられるように仕向ける。

⑪ 話し合い前、資料A～Cの読み取った情報の共有を見つけたら話し合う。

⑫ 話し合い後、資料A～Cの読み取った情報の共有を見つけたら話し合う。

⑬ 話し合い後、資料A～Cの読み取った情報の共有を見つけたら話し合う。

⑭ 話し合い後、資料A～Cの読み取った情報の共有を見つけたら話し合う。

⑮ 話し合い後、資料A～Cの読み取った情報の共有を見つけたら話し合う。

⑯ 話し合い後、資料A～Cの読み取った情報の共有を見つけたら話し合う。

⑰ 話し合い後、資料A～Cの読み取った情報の共有を見つけたら話し合う。

⑱ 話し合い後、資料A～Cの読み取った情報の共有を見つけたら話し合う。

⑲ 話し合い後、資料A～Cの読み取った情報の共有を見つけたら話し合う。

⑳ 話し合い後、資料A～Cの読み取った情報の共有を見つけたら話し合う。

<補足資料>  
① 児童が課題解決のために観る資料:  
(課題) 日本の場所によって気候が違うのは、なぜ?  
  
<資料1> <資料2> <資料3>

② 今回取り組んだ「知識構成ジグソー学習」の展開例

③ 実際の授業での児童の様子

④ 別紙に、児童がホームグループ内で分組してそれぞれの資料についてマスタグループで自分の考えをまとめる、本時ではそれぞれの資料のまとめをホームグループ内で共有する学習活動をしていく。

ホームグループでの情報共有: 共有した情報を書きだし、全体で日本の気候の特色を共有

表(4) 回 研究授業 協議会記録 記者: 舟田

1. 授業録  
本日もお出立先にお越しいただきました。授業について子供たちについて、研究について御報告いただけたらと思います。

2. 分科性  
書面にて

3. 授業者自評  
Fordに慣れるようにしていったのは、二週間のFordの息を吐き出しやすい、雪天行をしながらよい。学習を進めていく上で、書いて方がよいと感じる手があった。最終的には、まとめた内容を自分で進めるようにしていきながら進めたいと思う。記事の事から一つ進めようとしたのが良かった。事例と理由を書く経験が何回かするとより詳しく説明した文章が書けるようになるのではないかと感じた。

4. 全体出席

氏名	発表	その他:
成果	・組み立てメモとFordを二つの画面を使用して文章を書いている子がいた。 ・記事の書き出しが良かった。 ・記事の書き出しが良かった。 ・ワードを使いこなしている子が多かった。	
質問	・発表児童の文章をテレビに映して、共有するといふのはいいかと思った。 ・メモを手書きで書く児童もいたのか一人くらいいた。	・ITを使うことで、個人差は埋まるのか、応答の遅い児童はチェックポイントが多い。
総括	・話し合い場面、事例や理由などのみにチェックポイントを絞るといい。 ・原稿の書き出しの場面で、授業の考えやすくなるのいい。	・例に対して、書き手がわかるのかを配する。(動機を求めているが書き手になりやすいのか) ... ・いつか、自分が書きたい文章があった時のために

学習指導案  
4 ページ

授業の様子が分かる資料・写真  
1 ページ

協議会記録  
2 ページ

計 7 ページになるように調節して仕上げてください。



別紙に5年の実践報告を付けましてので、参考にしてください。

## 【B 授業】

・A 授業と同様に、指導案+授業の様子（写真、作品、ワークシート等）+協議会記録で「実践報告」とします。ただし総ページ数が違います。

<p>『<u>図画工作科学学習指導案</u>』</p> <p>令和 9 年 1 2 月 8 日 (水) 8 校時 第 1 学年 3 組 2 7 志 指導者 豊田 真 教員 第二回工業</p> <p>1 単元名 「ずまちゃんの手書きなまなま」</p> <p>2 本時の目標 「本時でどのような力を身に付けさせるのか」 (1) 手の回りの隙間を気付く、いろいろな形などを描きながら、隙間の面白さや楽しさを感じ取る。 (2) 手の回りの隙間の造形的な面白さや楽しさについて、感じとったり考えたりし、自分の見方や感じ方を伝える。</p> <p>3 本時のユニバーサルデザインの視点 (1) 学習の視覚の編配をする。 (2) カードの書き方を指導することで、取り勝りやすくなる。 (3) タブレットの操作方法を指導する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学習活動 (児童)</th> <th>指導上の留意点や評価点 (教師)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>導入 1 本時のめあてと流れを編配する。 2 タブレットの準備をする。</td> <td>◆カメラで撮影するのは全体席、近距離の一枚 まっくらあることを再度指導する。また、座席を配布する。 ◆タブレットの操作方法を指導、指示する。</td> </tr> <tr> <td>展開 1 ずまちゃんとタブレットを仲ち、指定された場所を行き来し卒業を促す。 2 教室に張り、発表用の卒業を指示。 3 結果を考す、カードに記入する。</td> <td>◆タブレットのカメラ機能を正しく使えている 編配する。 ◆隙間を気付く、面白さや楽しさを感じながら 意図的に参加しているか。 ◆操作に悩んでいる児童がいなければ編配する。</td> </tr> <tr> <td>まとめ 1 振り返りを記入する。 2 次時の流れを編配する。</td> <td>◆等身像、カードを回収する。</td> </tr> </tbody> </table> <p>5 評価 隙間を気付く、面白さや楽しさを感じながら意図的に参加しているか。</p>	学習活動 (児童)	指導上の留意点や評価点 (教師)	導入 1 本時のめあてと流れを編配する。 2 タブレットの準備をする。	◆カメラで撮影するのは全体席、近距離の一枚 まっくらあることを再度指導する。また、座席を配布する。 ◆タブレットの操作方法を指導、指示する。	展開 1 ずまちゃんとタブレットを仲ち、指定された場所を行き来し卒業を促す。 2 教室に張り、発表用の卒業を指示。 3 結果を考す、カードに記入する。	◆タブレットのカメラ機能を正しく使えている 編配する。 ◆隙間を気付く、面白さや楽しさを感じながら 意図的に参加しているか。 ◆操作に悩んでいる児童がいなければ編配する。	まとめ 1 振り返りを記入する。 2 次時の流れを編配する。	◆等身像、カードを回収する。	<p>&lt;補足資料&gt; ①児童が課題解決のために調べる資料： (課題) 日本の場所によって気候が違うのは、なぜ？</p> <p>&lt;資料 1&gt; &lt;資料 2&gt; &lt;資料 3&gt;</p> <p>②今回取り組んだ「知識構成型ジグソー学習」の展開例</p> <p>③実際の授業での児童の様子</p> <p>前時までに、児童はホームグループ内で分組した資料についてマスターグループで自分の考えをまとめたり、本時では各グループの資料の出し合いを各ホームグループ内で共有する学習活動で進めていた。</p> <p>ホームグループでの情報共有 共有した情報を書きだし、全体で日本の気候の特色を共有</p>	<p>第(4)回 研究授業 協議会記録 記録者：舟田</p> <p>1 授業録 本日も出勤先にお越しいただきました。授業について手帳たちについて、研究について詳細に話したかったらと思います。</p> <p>2 分科会提案 書面にて。</p> <p>3 授業者自評 Ford に慣れるようにしていったのは、二週間前。Ford の奥さば書を直しやすい、墨矢行をしくなくてよい、学習を導いていく上で、書いた方が速いと感じる子がいた。最終的には、まとめた方法を自分で導くようにしていきついでいいのと思う。回数の率から一つ導くようにしたのが良かった。事例と理由を書く経験が何らかすより詳しく説明した文章が書けるようになると感じた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>全体協議</th> <th>発表</th> <th>発表</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>成果 ・組み立てメモと Ford を二つの画面を活用して文章を書いている子がいた。 ・回数を減らすことで学習に取り組みやすくなった。回数の減りや内容が適切だと思ふ。 ・ワードを使いこなしている子が多かった。</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>質問 ・発表児童の文章をテレビに映して、再考するといいたのではないかと感じた。</td> <td>・メモを手書きで書く児童もいたのかと聞かれた。</td> <td>・IT を使うことで、個人差は埋まるのかに聞かれた。</td> <td>・チェックポイントが多い理由。</td> </tr> <tr> <td>感想 ・話し合う場面、事例や理由などにチェックポイントを絞るといい。 ・発表の話し合いの時間は、発表を分ける形にするとい。</td> <td>・組み立てメモは、ノートや手帳の方がよいのではないかと。 ・ペアの話し合いの時間は、発表を分ける形にするとい。</td> <td>・何に対して、習字練習があるのかを聞かれた。(助けを求めると習字が子に両付けで使うのがいい)。 ・いつか、自分が書きたい文章があった時のために</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	全体協議	発表	発表	その他	成果 ・組み立てメモと Ford を二つの画面を活用して文章を書いている子がいた。 ・回数を減らすことで学習に取り組みやすくなった。回数の減りや内容が適切だと思ふ。 ・ワードを使いこなしている子が多かった。				質問 ・発表児童の文章をテレビに映して、再考するといいたのではないかと感じた。	・メモを手書きで書く児童もいたのかと聞かれた。	・IT を使うことで、個人差は埋まるのかに聞かれた。	・チェックポイントが多い理由。	感想 ・話し合う場面、事例や理由などにチェックポイントを絞るといい。 ・発表の話し合いの時間は、発表を分ける形にするとい。	・組み立てメモは、ノートや手帳の方がよいのではないかと。 ・ペアの話し合いの時間は、発表を分ける形にするとい。	・何に対して、習字練習があるのかを聞かれた。(助けを求めると習字が子に両付けで使うのがいい)。 ・いつか、自分が書きたい文章があった時のために	
学習活動 (児童)	指導上の留意点や評価点 (教師)																									
導入 1 本時のめあてと流れを編配する。 2 タブレットの準備をする。	◆カメラで撮影するのは全体席、近距離の一枚 まっくらあることを再度指導する。また、座席を配布する。 ◆タブレットの操作方法を指導、指示する。																									
展開 1 ずまちゃんとタブレットを仲ち、指定された場所を行き来し卒業を促す。 2 教室に張り、発表用の卒業を指示。 3 結果を考す、カードに記入する。	◆タブレットのカメラ機能を正しく使えている 編配する。 ◆隙間を気付く、面白さや楽しさを感じながら 意図的に参加しているか。 ◆操作に悩んでいる児童がいなければ編配する。																									
まとめ 1 振り返りを記入する。 2 次時の流れを編配する。	◆等身像、カードを回収する。																									
全体協議	発表	発表	その他																							
成果 ・組み立てメモと Ford を二つの画面を活用して文章を書いている子がいた。 ・回数を減らすことで学習に取り組みやすくなった。回数の減りや内容が適切だと思ふ。 ・ワードを使いこなしている子が多かった。																										
質問 ・発表児童の文章をテレビに映して、再考するといいたのではないかと感じた。	・メモを手書きで書く児童もいたのかと聞かれた。	・IT を使うことで、個人差は埋まるのかに聞かれた。	・チェックポイントが多い理由。																							
感想 ・話し合う場面、事例や理由などにチェックポイントを絞るといい。 ・発表の話し合いの時間は、発表を分ける形にするとい。	・組み立てメモは、ノートや手帳の方がよいのではないかと。 ・ペアの話し合いの時間は、発表を分ける形にするとい。	・何に対して、習字練習があるのかを聞かれた。(助けを求めると習字が子に両付けで使うのがいい)。 ・いつか、自分が書きたい文章があった時のために																								
<p>学習指導案 1 ページ</p>	<p>授業の様子が分かる資料・写真 1 ページ</p>	<p>協議会記録 1 ページ</p>																								

計 **3 ページ** になるように調節して仕上げてください。

別紙に5年の実践報告を付けました。「授業の様子がわかる資料・写真」の部分の参考にしてください。

【以前付け忘れていた「扉」と「分科会提案」「成果と課題」のprotocols】

<p>高学年分科会</p> 	<p>分科会提案</p> <p>高-1</p>	<p>研究の成果と課題</p> <p>&lt;研究の振り返り&gt;</p> <p>&lt;研究の振り返りを通して&gt;</p> <p>高-2</p>
---	-------------------------	--

> PC > 教員共有\$ (¥20KSV103001) (W:) > 02【研究推進部】 > R4 > 研究紀要 > R4

↑ ここに入っています。